

I . 2015 年度FD活動の総括

I . 2015 年度FD活動の総括

今年度も人文学部においては例年通り、着実に FD 活動を行うことができた。近年、教員数の減少に伴って、各教員が担うべき学内の仕事は増えているが、そのなかでも人文学部の構成員はまじめに FD 活動に取り組んでいる。このことをこの報告書の公刊を通じても学内外に示していきたい。

各活動の具体的内容は本報告書の当該箇所をお読みいただきたいが、今年度の特徴として次の二点について説明したい。

一つは学部生による「授業改善のためのアンケート」で、昨年度と同様に Web 入力的方式を取り入れたことである。すでに以前から指摘されている通り、授業改善アンケートは人文学部が FD 活動として早くから重要視し、実施してきたものである。授業改善アンケートの結果は、翌年のカリキュラムごとの月例研修会において、丁寧に検討されている。従来は紙媒体によるアンケートが実施されてきたが、2013 年度から FD 委員の数が半減し、FD 委員会の活動も一層の効率化が求められることから、昨年度初めて Web 入力が試験的に実施されたことは昨年度の FD 報告書に説明されている通りである。ただし Web でアンケートを行うことについては、それ自体の問題点も指摘されており、全面的な導入をするかどうかは慎重な判断を要する。そこで、今年度も試験的にという位置づけで Web アンケートを引き続き実施することを委員会として決定した。さらに今年度は回答率を向上させるために、アンケートの対象科目を紙によるアンケートと Web によるアンケートに分け、Web アンケートはその対象科目についてはなるべくすべて実施することを学科会議を通じてお願いした。結果は「IV. 学部生による授業改善のためのアンケート」に詳しく記述されているが、昨年度よりは回収率を向上させることができた。

二つ目は講演会のテーマを「IT の発展と大学教育—進化した Moodle の意義」として、三重大学教育学部の奥村晴彦先生を招いて開催したことである。伝統的に大学においては学部の独立性が高いところ、同じ大学でも他学部の教員とはあまり接点がないが、今回は学部を超えて、ご協力を賜ることになった。奥村晴彦先生は IT 分野において卓越したご業績があるだけでなく、全国に先駆けて三重大学に Moodle を導入された。講演会では実際の操作方法などを文系の教員にもわかりやすく説明してくださり大変に好評であった。アンケートの結果を含めて、詳しくは「III. FD 講演会」をご覧いただきたい。

その他、今年度の FD 委員会では、教員アンケートの質問項目などを見直し、より回答しやすいアンケートづくりを心掛けた。他方で、大学院教育に関する FD 活動については新しい試みをすることができなかった。授業改善アンケートの Web によるアンケート方式の是非と合わせて、今後の FD 委員会で議論していただければと思っている。最後に、FD 活動が今後も定着し、教育レベルの向上に寄与するためには積極的に参加される教職員の皆様の協力が欠かせない。今年度のご協力に感謝するとともに、今後のご参加も引き続きお願いしたい。

2015 年度 FD 委員会委員長 洪 恵子